

第5回 高砂市スポーツ推進計画検討会議

平成26年4月30日（木）19時00分高砂市スポーツ推進計画検討会議を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席委員	議長	森田 啓之	委員	加茂 朋之
	副議長	藤原 良文	委員	松陰 英人
	委員	砂川健次郎	委員	佐藤 章徳
	委員	鎌谷 正士	委員	山田 みえ
	委員	水王 征子	委員	中村 香織
	委員	池田 政隆	委員	島本 卓

出席事務局職員

健康文化部長	橋本 保正
健康文化部	猪子 真一
くらしと文化室長	
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課長	東野 哲也
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課主幹	福原 裕子
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課係長	前川 吉也

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題
 - (1) 高砂市スポーツ推進計画（素案）について
 - (2) 高砂市スポーツ推進計画策定に伴う意見募集等について
- 4 そ の 他
 - (1) 今後のスケジュールについて
 - (2) 次回開催予定日
平成26年 月 日（ ） 19:00～
- 5 閉 会

(午後 7時00分 開会)

○事務局

皆様こんばんは。

定刻になりましたので、ただいまより第5回高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催いたします。

開催に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規定に基づき、公開とさせていただきます。

ただし、傍聴希望者は本日はおりませんので、よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席していただきましてありがとうございます。

まず、お手元の資料の確認をお願いいたします。

(資料確認)

では、開会に当たりまして、議長よりご挨拶をお願いします。

○議長

(あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

本日の会議は出席者12名、全員が出席となっております。

では、今後の議事進行は、議長をお願いいたします。

○議長

それでは、次第に基づいて、早速、議題の1番のほうにいきたいと思います。

高砂市スポーツ推進計画の素案についてということで、まず事務局のほうから説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、高砂市スポーツ推進計画(素案)の概要についてご説明いたします。

まず、資料1をお願いいたします。

資料1はスポーツ推進計画の体系図でございます。

前回、第4回の検討会議でご指摘のありました「子ども」「成人」といきなりわかれていましたので、「乳幼児期」「青少年期」「成年期」「高齢期」と年代の分けかたを変更いたしました。

また、障害者スポーツについては、前回「障害者スポーツの推進」としていましたが、健常者と障害者が共に楽しめるという意味で、「ユニバーサルスポーツの推進」に変更いたしました。

2番目にスポーツの推進のための「スポーツ環境の充実」を掲げ、3番目にスポーツを通じた地域づくりやまちづくりにつながるということで、「スポーツによる地域の活性化」の順に変えております。

次に資料2をお願いいたします。

高砂市スポーツ推進計画（素案）の修正部分でございます。

まず、3ページ、4ページをお願いいたします。

第1章の文言は、前回と同じです。3ページ、4ページの下に、わかりやすく新たに図をつけ加えました。

次に、5ページをお願いいたします。

第2章、現状と課題です。前回「スポーツを取り巻く現状と課題」としていたものを「取り巻く」という表現を変え、「スポーツをめぐる現状と課題」に直しました。

まず5ページで、1、今日の社会状況のところでは、スポーツをめぐる社会全体のことを記載し、6ページでは高砂市の現状について述べております。

(2)本市のスポーツに関する意見で、市民アンケートやグループ協議（SWOT分析）の意見の分け方を整理し、分類し直しました。

分類した意見を踏まえ、9ページ中ほどに意見を総合的に集約した記載をつけ加えております。

用語説明ということで、わかりにくい言葉には、米印をつけ、注釈を加えることにしました。

次に10ページをお願いいたします。

前回、事務局より3つの案をお示ししましたが、前回委員の皆さまからいただいた意見を参考に、このたび事務局では「全ての市民が生涯にわたって継続的にスポーツを楽しめるまち高砂」と提案させていただいております。皆さまからのご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に11ページをお願いします。

①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、②スポーツ環境の充実、③スポーツによる地域の活性化の3つを、基本理念の実現のための基本目標としてあげております。

12ページをお願いいたします。

資料1と同じ図でございます。

この、スポーツ推進計画の施策体系として、「基本理念」、「基本目標」、「基本施策」を図であらわしております。

○議長

ここまでで一度、今、第1章から第3章まで流していただきながら説明をしてもらったんですが、重要なことでもあるので、もう一度3ページから、後、目次と参照していただきながら確認をお願いしたいと思います。

まず、第1章、計画の趣旨の部分です。

このあたりは、特に第1章については、多分意見、具体的には委員の皆さんからもなかったかと思うので、そのあたりもほとんど変更なしできておりますが、それで事務局的にもよろしいですね。

それでは、第2章のところをごらんください。

(1)本市の現状、(2)本市のスポーツに関する意見ですが、6、7、8、9ページのところ、ちょっとしばし目を通していただけますでしょうか。

皆さん大体よろしいでしょうか。

特に、委員の皆さんのほうからご意見がなければ問題はなかろうかと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

どんなことでもいいですか。

○議長

結構です。

○委員

用語の説明がつけ加えられてわかりやすくなってるんですけども、7ページ、用語の説明のところ、6ページも関連するんですけども、本市ではスーパードライブ、スーパーカラム、ファミリーバドミントンとありますが、一般の人がスーパードライブって何というふうなことも出てこようかと思うので、高砂市で取り組んでいるニュースポーツについては、わかりやすくしたほうが丁寧かなと思うんですけど。

○委員

競技説明ですね。名前だけではわからない。

○委員

説明をつけ加えてくれたら。ファミリーバドミントンといっても、わからないしね。簡単な説明。スーパードライブだったら、ラージボールというぐらいでわかるだろうと思いますけど。

○委員

スーパードライブだけだったら、わからない。

○委員

スーパーカラムもね。

○委員

彦根市の室内ゲームですね。その体育館版です。

○委員

文言でもいいですか。

○議長

結構です。

○委員

6ページの本市の現状の1行目、本市では多くのスポーツ活動をしている団体がある。私一瞬、多くのスポーツ活動という、いろんな種類を一つの団体がしてるように勘違いしてしまったんです。

この文章は、スポーツ活動をしている団体が多くあるという意味合いなのかな。

○議長

そうですね。

○委員

ちょっと文言を入れかえないと。

○議長

ごもっともですね。

○委員

前回、成年期の部分がもうちょっと細かくわけたほうがいいと意見が出てたような気がするんですけど、その辺をちょっと意見記載したほうがいいんじゃないかなと思います。

○議長

共通というところに、かなり成年期の部分の記述も幾つか入っていますね。

○委員

成年期のところを、もうちょっと細かく書いたほうがいいのかなと思います。

○議長

分類の仕方もある部分はこちらの我々の主観の部分で、どこを位置づけるか考えればいいと思うので、今のご意見も踏まえると、共通に結構入っている部分というのは、多くの場合、これ成年期に該当するところが結構多いので、そのあたりを、この部分については、これ整理してくださった共通というカテゴリーをつくったのは、持っていきどころが難しかったみたいな感じですかね。

○事務局

最初はそれぞれの年代のところに再掲と書いてたのですが、13ページの図にあるように、全てにまたがって、かかわってくるところがあると思ひまして、共通という項目にまとめました。

○委員

結局、各年代に適応した各年代時期に突入した指導が必要という、一概に言えばそういうふうになってしまう。細かくしてちょっと切りがない部分もあるので。

○議長

今、多分言ってくくださった、9ページの最後に共通の下にちょっとまとめを今回新たにつけてくれていますが、そこの部分とも絡みますよね。私も今のご意見伺ってちょっとと思うのは、この共通点がちょっと何か違和感があるので、最後総括したところに入れたほうがいいのかと、これは一個一個の個別な意見で、それらを総合していくと、今言ってくくださった、やっぱりそれぞれのステージに対して適切な、例えば情報発信もそうだし、その辺もうちよっときれいにしたほうがいいかなと、ちょっと思うところです。

前回の今手元にいただいたんですが、数段整理はされているんですよ、本当に。大

分、加筆をされているので、そのこと自体は非常に。

やはりそうすると、総括の部分はもう少しまとめて入れていけばいいんじゃないかなというのが、伺ったご意見の持っていき方じゃないかなと思うんですけど。

少しちょっと、そこの部分は手直しをさせていただくということでご了解ください。

後、どうでしょうか。

○委員

年齢別でわけているのが、成年期が一つになってるんで、成年期の後に壮年期みたいにした方がいい気がするのと、何か青少年期というのも、場合によっては二つぐらいにわけられるのかなという、あまりわけすぎてもちょっとあれなんでしょうけど、何か乳幼児というふうに分けるのであれば、何かもう少し細かく分けてもいいのかなと思います。

○委員

基本施策のこの中身を見ると、文章は二つにわれていますので、前半、後半になる考えとしては書いているけれども、現状としては細かくないというふうなことかなと。

○議長

恐らくね。それで、この段階のときに、お互いそうなんですけど、意見を出すときに、そんなに厳密にこの段階の心配なこと、課題みたいな感じで意見を出し合ったわけじゃないので、事務局のほうで大体大まかなステージを設定したというふうにとらえていただいたほうがいいかなと。

後半のほうでは、そこの部分は少し吸収をしている部分ではあると思うので、そういう面で前半、成年期、後半といういい方もしてくださっているんで、個人的にはこのままでもいいかなとは思いますが。

そのほか、どうでしょうか。

いままでのところで。

○委員

レイアウト的には別に言わなくていいんですか。

○議長

そこも含めてお願いします。

○委員

8ページのイ、ウ、エまでの点の位置と、オからの点の位置が違ってきます。

○議長

そうですね。一字下がっているんですよ、オ、カ、キが、確かに。オ、カ、キ、クまでですね。ケはオーケーですね。

○委員

現状と課題と言うことなんですけども、これはこれでいいと思うんですけども、高砂市の現状を特徴と言いますか、理解するために別資料としまして、高砂市では全国的な

大会、県の大会、こんなことを定例的にやっていますよと、こういうスポーツをやっていますよとか、国際交流は6ページにも書いているんですけどこうしていますよ。それで、各団体もしていると思うんです。各団体も定例的にはこんなことをしていますよ。それから、スポーツで活躍した人が過去こんなことをしてましたよとかいうところの、ちょっとした別冊みたいなものがあったら、高砂市の状況として、こんな状況なのかなというのがよくわかると思うんです。

○議長

はい、一つは巻末に、本部には巻末資料のような形で入れて、それで最後にあまりボリュームにならない程度に、1枚か2枚ぐらいで何かこううまくまとめて出しておくことは、確かに得策だろうと私も思いますね。この機会にいろいろな人に見ていただくという意味でも。

○委員

内容についてなんですけど、8ページ、キの指導者のところなんですけれども、三つ目に指導者、ボランティアの活用が不十分であるというふうに書いてあるんですけども、これは私の取り方としては、指導者やボランティアの方がいるのに、それをうまく回せていないというふうにとらえるんですが、その一番上を見ていただくと、指導後継者が不足しているということで、これを考えると意見が相反するのかなと思って、どうなっているんだろうというふうに疑問に思われなかなと思うんですが、そのあたりはどうなんでしょうか。

○議長

このグループ協議をした時点で、それぞれが見ているところから意見を出したので、ある部分ではあっているし、違う側面ではこんなこともあるねというので、そういう意味ではまさに矛盾している、対立するような意見もあったと思うんです。それをどう取り扱うかということだと思うんですけどね。

以外にこれ一般論なんですけど、結構最近のはやりというか、同好の競技団体もそうなんですけど、資格をちゃんととりなさいということで、いろいろな人材バンクみたいなんとか、県なんかもそういうスポーツの人材のバンクがあるんですけど、そこには、あるいは協会が持っているのは、数は結構、多分高砂も結構持っている人は多いと思うんですが、それが実際の現場のところに、ニーズ等も含めてマッチングができていないというのは、よくあることなんです。

だから、すごく広く解釈したらわからんでもないことではあるんですけど、登録はしているけど、実際の現場のところまでは、いろいろな事情も含めていってないので、実際具体的な現場のところで、指導者はあんまり潤沢とは言えないよというふうなことでもあかなとは思いますが、これちょっと私が書いたんではないんですが、もし書かれた人が書いたなみたいなものがあったら、イメージを誰かご披露いただいたらありがたいんですけど。

○委員

指導者、ボランティアの活動が不十分であるという意見は、私が多分言ったと思います。そういう人材バンクもあって、けどもその中の方から全然要請がないというふうなことをちらっと聞いたことがあるのであげたと思うんです。

先ほど、議長がおっしゃったように、マッチングができてないのかなというふうなことですね。

また、ある方は専門種目なんかになったら、指導者が、後継者が不足しているのではないかなという意見だったと思います。やっぱり、その競技、競技によって違うでしょうし、活動の時間帯によっても不足してるとかいう方もおられるというふうなことだと思うんですよ。

○議長

意図としては、大体そんな感じということでもいいですかね。十分活用されていないのか、活用が不十分であるのか、その辺がまた日本語、ちょっと検討含めてと思います。

それでは、9ページまでのところはよろしいでしょうか。

○委員

(2) のアからケまでが全て並列になっているんですけども、施策体系の1番と2番と、意図的にだと思うんですが一致されているので、アからカまでとキからケまでを別のくくりにしてしまって、こちらと表記を合わせてもいいのかなと、このくくりをつくってしまったほうが。例えば、高齢期と指導者が並列というのもピンとこないので、それぞれに対応させる形でこういう問題があるので、本市ではこういうスタンスとりますよという形にしたほうが。

○議長

そうですね。

○委員

ちょっと微妙なところですけども、後で言おうと思ったんですけど、その施策の5番と6番はスポーツ環境の充実のほうに入れたほうがいいのかとも思うし、そのあたりをまた議論したほうがいいのかと思うんですけども、とりあえず何かこれとこれをうまいぐあいに結びつける形のほうがわかりやすいかなと思います。

○議長

多分、今の話からすると後ろとか全くのドンピシャな整合の表現じゃなくても、くくりをある程度したほうがいいだろうというご趣旨だと思います。

そこは、後から事務局と検討させてください。おっしゃることはよくわかりますので。

では、続いて、10ページ、11ページ、今出ましたね、体系の図もそうなんですけど、10ページ、11ページのところをちょっとごらんいただいて、あればお願いしたいと思うんですが。

まず、一番大きいのは理念の原案を出してくださったということで、前は三つあった

んですね、いろいろね。多分、一つは短くしたというのが、前回結構長かったので短くしましたよというのが1点だと思います。

それと、最も言葉がちょっとよくないんですけど、平均的な表現でおさめたというあたり、前は、例えば①が一番前回のとは違うんですけど、「全ての市民がさまざまなスポーツ活動に参加し、生涯にわたって継続的にスポーツ文化を楽しめるまち 高砂」多分、この部分が一番細かくしたんだろうなと思いつつ、言っていることをコンパクトにしてというふうなところになろうかなと思います。文化という言葉をあえて消したのは、下にその説明文が新たにちょっと詳しく入ってきたので、これスポーツ文化というふうな言い方をあえてしなくて、比較的平易な表現でスポーツを楽しめるまちという言い方にしたというふうなことじゃないかなと。

前は、後、健康でいきいきと暮らすとか、心身ともに健康で長寿みたいな表現があったんですけど、もうそのあたりも意図は皆さんわかるということで、いうふうなことではなかろうかと思いますが、そんな解釈でいいですかね。と私は理解してるんですけど。

後、12ページまでのところですね。先ほどあった部分、体系の図のこと、さっき言われたのは、委員とか委員が、ここの中の部分ですかね。

○委員

合わせるなら。障害者のところへユニバーサルスポーツかなって。オが障害者になっているので、それは、でも施設面ですから、環境面でしたので、どうなのかなと。

○委員

その結果、ユニバーサルスポーツにしますということなので。

○委員

悪くはないけど。

○委員

私が言ったのは、5番と6番は大きいほうの2に入れてもいいのではないかな。考え方次第だとは思いますが。

○委員

二つの、やっぱり1と2にわたっている部分があるので、ちょっとどちらにするのも難しいと思います。

○議長

そうですね、おっしゃるとおりですね。

この12ページの図、まさにどう考えても概念的には基本目標にライフステージに応じたと書いているので、施策にある乳幼児期から高齢期までなんですよね。後、5番と6番というのは、その中のある側面に特化した部分、競技的な部分とか、ユニバーサルないうふうなので、1から4とはちょっと性質が違うんですよね。これ、どこのところでも結構悩むんですけど、いろんな市町で。

環境のどこに入れるのもなという、ライフステージという言い方の中に、そういうあえて年齢区分には入れられないけど、そういうふうな側面があるだろうということで、5と6を、そういう意味では競技スポーツというのは若者だけではなく、マスターズなども含めて、年齢高い人も入ってくる問題ですし、それぐらいにちょっと解釈したら、ここへ入れておくほうがいいかなみたいな感じでここに事務局と一緒に入れているというふうにご理解いただいて、どうでしょうかね。

おっしゃるとおりだと思います。

○委員

ライフステージというのがあるので、これも別にこのほうがいいでしょうね。

○委員

説明したらどうかなと思うんですけど、何か記載があれば親切かなと。

○議長

ちょっとそこ、じゃあ検討させてください。ほかの部分で何かいい案が、国もこれ、県レベルもちょっともう一回その観点で見えます。私自身も二つか三つかかわったんですが、いつも議論になってどこへ入れようって、大体ここへ、本当はもっと目標として別に取り上げるべきかもしれないけど、ここまでまた目標を大きくするのもどうかなという議論もあったりして。

○委員

よく考えたら、今の仕分けでいいような気は私はするんですけど、5、6を2に入れるのは、ちょっとしんどいところもあるかなという気はするんです。

○委員

全ステージにかかわるということ。

○議長

そうですね。

そうしましたら、12ページまでに、もう総括でちょっと言い残したことを含めてありましたら、ないですか。

○委員

基本理念の中の言葉なんですけど、継続的という言葉がちょっと浮いてる気がするんです。

例えばですけど、生涯にわたってスポーツを楽しむ、続けられるまちとか、そういう簡単な言葉というか、そういうずっと流れるような言葉のほうがいいのかないかなと思いましたね。ちょっと、ここだけ説明みたいなふうになってるので。

○委員

重複してるみたいですね。

○委員

重ね重ねみたいな感じになりますね。継続的にを省くか。

○委員

なくてもいいかもしれませんね。

○委員

省いて、生涯にわたって。

○委員

生涯にわたってというのはそういうことだから。

○委員

生涯にわたってスポーツを楽しめるまち 高砂で。

○委員

スポーツを楽しめるまち。

○委員

前のときに、生涯にわたって継続的というのがポイントだというふうに思ったんですけど、・・・多分入れとってだと思えます。

○議長

確かに、ちょっとくどい感じが改めて見ると。じゃあとりましようか、どうでしょうか。わかりました。

ありがとうございます、貴重な意見を。

それでは、12ページ以降、引き続き第4章からの説明を事務局のほうからお願いします。

○事務局

それでは、13ページをお願いいたします。

第4章からが施策の概要でございます。

基本目標1で「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」をあげております。

13ページの下にイメージ図を掲載しております。

乳幼児期、青少年期、成年期、高齢期に分類し、ゼロ歳からは健康・体力づくりを、6歳の青少年期からは友だちづくり・仲間づくりを、20歳成年期からは生きがいを、競技スポーツは各世代に応じて、それと障害者スポーツと書いてますけど、先ほど施策体系のところユニバーサルスポーツに直します。

14ページをお願いします。

各施策でございます。

第4章については、前回の素案では「基本施策」の概略を述べ、(例)をあげる形でしたが、それではわかりにくいということでしたので、今回の素案では説明をもう少し詳しく述べる形にしました。

まず、基本施策1は、「乳幼児期の取組」でございます。

取組の方向といたしましては、①「幼児期運動指針（文部科学省）」に基づく運動習慣の基盤づくり、②で、親子のできる運動の推進、③で、いろいろな運動（動き）・

遊びにチャレンジする機会の充実をあげております。

続きまして、15ページをお願いします。

基本施策2は、「青少年期の取組」でございます。

「ア 子どもの体力の向上」でございます。

青少年期においては、子どもたちが「スポーツに興味を持ち」「スポーツを楽しむ」「スポーツを好きになる」よう、家族や友だちと運動を楽しむ中で、いろいろな運動にチャレンジすることができる機会の充実を図り、また、この時期は学校の授業や部活動など、学校での取組だけでなく、学校以外での活動も重要となってくるため、地域で活動するスポーツ少年団、レクリエーション活動団体、子ども会など地域社会全体が連携・協力し、より多くの子どもが、スポーツを楽しむことができるよう、地域のスポーツ環境の充実を図ることとしています。

取組の方向といたしまして、①②は再掲でございます。

③スポーツクラブ21等への参加奨励をあげております。

④スポーツ少年団活動の充実をあげております。

続きまして、16ページをお願いいたします。

「イ 学校体育等の充実」でございます。

取組の方向といたしましては、①学習指導要領に基づく授業等の実施でございます。

②「運動大好きGoGoプラン」の推進。

③いろいろな運動（動き）・遊びにチャレンジする機会の充実の再掲でございます。

④スポーツクラブ21等との連携をあげております。

次に、17ページをお願いいたします。

基本施策3は、「成年期の取組」でございます。

成年期前半ということで、仕事帰りや休日など、個々の生活のリズムの中にスポーツを取り入れ、心身のリフレッシュを図っていくことが大切となってきます。

成年期後半は、自分のライフスタイルに応じて取り組めるスポーツを見つけ、それをきっかけとして、スポーツに親しむ機会が増えていくように、日常生活の中で気軽に運動量を増やせるような取組や啓発、スポーツ活動に関する情報提供の充実努めることとしています。

取組の方向といたしましては、①、親子でできる運動の推進、②、健康づくりのための運動の推進、③、仲間づくり・生きがいくりのためのスポーツ活動の推進、④、スポーツクラブ21等への参加推奨の再掲でございます。

次に、18ページをお願いいたします。

基本施策4は、「高齢期の取組」でございます。

高齢者においては、自分の体力や体調にあったスポーツ活動を見つけ、健康づくり・生きがいくりにつながるような取組の充実を図るとともに、スポーツをきっかけとして、人との交流を楽しむことができるよう、スポーツクラブ21等への参加を推奨する

こととしています。

取組の方向といたしましては、①②は「健康づくりのための運動の推進」、「仲間づくり・生きがいくりのためのスポーツ活動の推進」の再掲でございます。

③身近な地域行事やボランティア活動への参加促進をあげております。

④は、スポーツクラブ21等への参加推奨の再掲でございます。

⑤介護予防のための運動の推進、⑥高齢者の生きがいくり・健康づくりに向けた活動への支援をあげております。

次に19ページをお願いします。

基本施策5は、「ユニバーサルスポーツの推進」でございます。

年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、障がい者を含め、スポーツに親しむことができる環境づくりを推進することとしています。

取組の方向といたしまして、①障がい者スポーツの推進、②障がい者と健常者が交流できるスポーツの推進でございます。

20ページをお願いいたします。

基本施策6は、「競技スポーツの推進」でございます。

競技スポーツは、観る人の心をつかみ、魅力あるものとして、スポーツの裾野を広げることにつながることから、スポーツ選手の育成を推進することとしています。

取組の方向といたしまして、①各種スポーツ大会の開催、②指導者の確保及び養成、③競技力の向上をあげております。

④スポーツ医・科学の活用で、スポーツ選手のサポート体制強化を促進する、⑤スポーツ顕彰でございます。

優秀な成績を修めたスポーツ選手・団体を表彰することで、市民のスポーツに対する関心を高めることとしています。

以上です。

○議長

それでは、またここかなり追加をしていただいている部分なんです。いろいろご意見あるかと思しますので、どんどん出していただけたらと思いますが、まず12、13ページ、図が入ってきてというところ、将来像という形で示していただきながら。

13ページあたりから、いかがでしょうか。

○委員

図について、私2点ありまして、1点が上の三つの横の四角は、それぞれの時期に対して一つずつ増えていってるんですけど、最後の高齢期のところで増えるものがなくて、このままだと成年期と高齢期が同じような扱いになってしまうので、ここ何か高齢期で成年期の違いをつくったほうがわかりやすいのかなということが一つ。

もう一つが全然違う視点ですけど、競技スポーツを乳幼児期に入れてしまうのは、ちょっとどうなのかなと。ちょっとずつしか増えてきてない図になっているんですけど、

後の文章では小学校、中学校というふうな文言が出ていますので、乳幼児はこれは省いてもいいのかなという点です。

○委員

ただ、この図は上三つは横バーですよ。スポーツは山ですよ。そこの区別の見立てというか、それをちょっと読みづらいですね。例えば、友だちづくり、仲間づくり、もっと視野が広がる、社会が広がるとなれば太くなるでしょうし。その意味合いが、バーと、山の意味合いがちょっとわかりにくいかなと、そういう感じがしました。

○議長

私も思うんですけど、先ほどの委員からの部分で、これをそのまま読めば確かに4本目何かバーが要りそうになりますし、委員の話で考えていくと、多分今度一人の人間のその中でのシェアというか、割合みたいなとか、後広がっていくみたいな図にしていたりとか、ちょっと考えないといけないなというのは思うところですね。

言葉としては、すごくわかりやすいし、僕もこのキーワード、生きがいづくりとか、仲間づくりとかできたのすごいなと思うんですが、少し検討をさせてください。ちょっと確かに競技スポーツだけが何かこう高さがあって、ほかはないというところ辺もちょっとおかしい感じがします。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

友だちづくりの「達」ここは漢字なんですね。ほかの文章見ると、「達」が平仮名になってます。特に意味があるのか。

○議長

多分、まさに転載をしたので、そのままコピーしたから、元は漢字だったんでしょうね。多分平仮名のほうが、本文でいっているようにいいんじゃないかなとは思いますが。

○委員

高齢期、これは入れるとすれば、18ページにあるような運動機能の低下防止とか、この時期そういうふうになってくるかな。

○委員

高齢期ですけど、よく言われているんですが、ニュアンス的にはどうかかわからないんですが、介護予防というのがあると思うんですけども。

○議長

今、委員、委員から言われた部分の運動機能の低下防止とか、介護予防みたいな観点、特に高齢期には特に入ってくるころでしょうね。

後、あるいは本文のところに今回新しく18ページ入ったんですが、私これすごい重要なことを具体的に入れてくれているんですが、③で身近な地域行事のボランティア活動への参加促進という、これ言えば社会貢献みたいな、何かそんな感じでも特にまさに高齢期の方々に本当にいろいろ期待する部分が多いので、そんなことも、それが生きがい

づくりとも絡むんですけど、そのあたりちょっと。

○委員

ちょっと言葉はかたいですけど、健康寿命の延伸ということですね。

○議長

そうです。

ちょうどこれ、ごろはいいんですよ、確かにづくり、づくりときているから、どなたが考えたのかわからないんですが。

その部分は少し保留にさせていただいて、後、中身のところ、14ページから、ちょっとこれは気になるぞみたいながありましたらと思うんですが。

私のほうから一つだけ、15ページと16ページのところなんですが、青少年期、学校でやることと、多分地域でやることというのが複雑に絡み合っているから難しいところなんですが、ここだけはアとイなんです。見ていただいたらわかると思うんですが。

アのタイトルが子どもの体力の向上なんです。イは学校体育等の充実で、こっちのほうは書いてあることは、学校体育の部活動と授業内容、アのほうのタイトルの下に書いているのを見ると、ア、イを総括する中身みたいな文章が書いてあるんです。タイトルもこのまま体力の向上と書いてるけど、多分この辺趣旨からしたら、単純に体力ということよりも、スポーツ好きになったりとかでいろんな動きができたりみたいな願いのほうが文章的には強いし、基本施策2の下に、もうアの前にこういうふうな文章の全体的な課題を入れて、それでアとして何か別タイトルを起こしたほうが、例えばスポーツを好きにさせる、何かスポーツと初めての出会いをつくるとか、何かそういう形のほうが多分本文の中ではそこで青少年期においてはみたいなどこからか、それにかかわってくるんじゃないかなと思うんですけど、でも言いながら部活の話も、授業と部活も入ってくるので、ちょっと文章的には入り組んで、アとイがミックスしてる書き方になってるので、ちょっとここは直さないといけないなと思います。

私は個人的には、あんまり体力の向上ということを子どものスポーツとの絡みで入れ過ぎないほうが、もちろんそれは大事なんですが、意図からしたら子どもの健全な心と体の育成みたいなほうが、スポーツを楽しむということもそういうふうな側面というふうにちょっと今冷静に読ませていただいてちょっと感じるのかなんです。

もし、そこをご了解いただけたら、ちょっとまた再度事務局と、ここについては詰めをします。

どうでしょうか。何か言っていること、おかしいなと思ったら遠慮なく言ってください。

○委員

学校体育とすれば、例えば今議長が言われたように、アのほうは社会体育とのあれです。取組方法を見てもそんな感じかなと思うんです。

○議長

そういう場として、アとイを入れたほうがわかりやすいと私も、その前段にこの青少年期の課題というのをまとめて、一言で入れていくような形のほうがいいかなというふうに。

ありがとうございます。ちょっと、そこ文言を再検討させてください。

成年期、高齢期あたりいかがでしょうか。

○委員

成年期、よく読んだら、成年期前半と後半とわかれてきてるなというのがわかるんですけども、ぱっと見てわかれてるといような、何かアとかイとかいうふうにしたほうがわかりやすいかなとは思いますが、十分読んだらわかれてるなとわかるんです。

○議長

内容的にわかるぐらいまであるかなと悩んだんじゃないかな、事務局。

これ、アとイで年齢わけれるんだけど、わけたら中身がそんなに区別して書けないなという事務局の苦しみが何となく想像できるんですが、いかがでしょうか。

これ、もうおっしゃるとおりなんですよね。もしわけるとしたら、これ何かタイトルと後取組の方向みたいなどころは、もう少し具体化ね。

○委員

これ基本施策の3のこの成年期の取組で、頭に成年期前半とって、この文字の一番頭に成年期前半、それからまた、頭に成年期の後半と持ってって、それで後文字を入れたらわかりやすいのでは。

○議長

もうそれぐらいで大丈夫ですか。それぐらいで十分ですね。了解です。

○委員

すごい細かいですけど、この基本施策3の成年期の前半は39歳ごろまでじゃなくて40歳ごろまでじゃないかなというのと、細かいんですけども。

この前半の部分も何かスポーツをする理由がすごい弱いかなど。この世代の人がスポーツをしない理由にもかかわってくるんですけど、生活習慣も乱れやすくなってくるから、リフレッシュを図ることが大切になるのでスポーツをしましょうというところで、ここ何か一ひねりして、この世代の人がスポーツをする理由というのを付け加えたほうがいいのかなと思います。

○委員

結局は、介護予防もいかに若いうちから体をつくることというのにかかっているんです。ですので、いきなり年をとってから始めるのではなくて、ライフスタイルをいかに若いうちから確立するかという、そういう部分を最初に入れていただくのとよいのではないのでしょうか。

子どものところで、子どもの心と体の健全な育成というふうなことをおっしゃいましたが、今も同じなので、別になるとか・・・そういうことは結局、・・・い

うこともわかっているのですが、結局、健康寿命をいかに推進していくかということが、この時期からにかかっていますよということを入れていただきたいです。

○議長

意図は多分、今まさにワークライフバランスとかいうふうな言葉もいっぱい、仕事と後自分の生活とか、健康とか、そういうふうなもの、バランスなんて出てきているので、多分そういう意味では世の中の状況も含めて、そのあたり生活の中にスポーツを位置づけるみたいな、まずそれまでは言えば学校がやってくれたり、親が面倒みてくれたんだけど、初めてここで自分でスポーツにどう生活の中にデザインするかということなんですというような文言はあったほうがいいでしょうね。

○委員

同じところでちょっとよろしいですか。

前半に部分の2行目ですけど、充実した生活の一方、ストレスや疲れを感じるとともに、生活習慣も乱れやすくなり、これはちょっと言い過ぎかなと、時間的余裕がなくなるとか、そういう形かなと、乱れるというのはちょっと検討してほしい。

○議長

これは明らかに訂正をしないといけない部分ですね。

そうしましたら、先へ急ぎますが、高齢期、後ユニバーサルスポーツ、前回、委員も意見出してくれたあたりも含めて加筆をしてくれているんですが、このあたりも。

ちょっと、私が19ページ、どちらも例えばユニバーサルスポーツ、①も②も何か似てないと思いつつながら。

○委員

高齢期のところで、お年寄り同士の交流が重視されているんですけども、下の世代との交流、スポーツクラブ21とかはあるんですけども、そのあたりをもっと増やす施策が必要なのかなと思います。お年寄りだけでも、もちろんスポーツできるものということなんですけど、何かしら下とやることで、より活性化できるものだと思うので、そのあたりができないかなと。

○議長

多分学校等でもよくある3世代交流みたいなものとか、そういう文言をちょっと具体的にどこかに入れていくことがいいかもしれませんね。

○委員

ユニバーサルスポーツでもよろしいですか。

①のところで、障害者関係団体と連携して、障害の種類や程度ということなんですけど、そこでも種類の程度というものを書いてしまうと、明らかにユニバーサルじゃなくて選んでしまう、この障害の人はもうだめ、この障害だったらオーケーという感じがしてしまうので、この種類の程度というところですかね、そこがちょっと言葉を変えるほうがいいのかなというふうに感じました。

○委員

それと、全体的な政策の取組とか、取組の方向の中で、こういうユニバーサルスポーツの推進というふうな、ごくごく部分がちょっとしかないので、何とか知的に、障害者の理解から始まり、その辺りのことも、もしくは何か、今何も数字言えませんが、これだけ見ても、何かおろそかになってるんじゃないかなということなんですけど。

○議長

ちょっとここ、事務局と検討させてください。

また、ご意見を、そちらにせよ、もう一度多分パブリックコメントの前には、少なくとも会議はちょっとできませんが、資料をお送りして、最後チェックいただくことは必要になるかと思うので、ほかも含めて、確かに、次競技スポーツ見たら、どんと1ページありますもんね。

だから、これは私も考えてみます。

それでは、20、21ページ、いかがでしょうか。

これ④は③の中に入れてもいいかなとも思うんですけど、どうでしょうかね。競技力の向上というふうなことに向けて、ウはトップアスリート招聘の話、エは科学的な話、あえてここを特に重点的という意図があればなんですけど、書いてあることは全然問題はないんですが、そのあたりどうかなというふうに思うんですが。

○委員

指導者の確保のところ、このころ最初に言った意見にもつながるんですけど、子どもの成長を直すため、成長を阻害しない指導ができる指導者の育成という何かニュアンスをどこかに込めてもらえないかなと、今ちょっと過去問題になっているところに、やらせ過ぎるといえるのか、ちょっと指導者の中にないというところがありますので、競技によっては、幼少期からやる必要があるけれども、競技によっては幼少期にしないではいけないことというのがあると思いますので、そのあたりのニュアンスをぜひお願いしたいと思います。

○議長

そうですね。②のアのところ、スポーツ選手のニーズや発達に応じた指導を入れたら、そこが一般的な表現としてもすっといけるかなと思いますね。

それでは、一応ひとまず置きまして、続いて2のところですね。

22ページからのところ、説明をお願いします。

○事務局

それでは、22ページをお願いします。

基本方針2は、「スポーツ環境の整備」でございます。

多くの市民が身近なところで、いつでもスポーツに親しめるようスポーツ環境の整備を行うこととしています。

基本施策1は、「スポーツを支える人材の育成・活用」でございます。

取組の方向といたしましては、①スポーツ指導者の育成をあげております。

②、スポーツ推進を支える団体の組織強化に向けた支援でございます。

続きまして、23ページをお願いいたします。

基本施策2は、「スポーツ施設の整備及び有効活用」でございます。

取組の方向としましては、障害者や高齢者に利用しやすいよう、バリアフリーの推進や、身近なスポーツ活動の場として、高砂市総合運動公園や学校体育館を有効に活用していくことを関係機関と連携して推進することとしています。

次に、スポーツ施設の管理・運営でございます。

平成18年度から指定管理者制度を導入しております。さらなるサービスの向上や利便性を高め、誰もが気軽に利用できるような環境整備及び安心安全な管理の徹底を図ることとしています。

24ページをお願いいたします。

指定管理者による自主事業について、障がい者を対象とした事業など、市民のニーズに沿った講座・教室の充実を指定管理者と連携して取り組むこととしております。

次に、基本施策3は、「情報発信」でございます。

多くの市民がスポーツに関する情報の必要性を感じていることから、一人でも多くの市民がスポーツへの参加意欲や興味・関心を抱くきっかけとなるように、スポーツや健康づくりに関する情報を効率的に収集できる体制を整えることとしています。

取組の方向としましては、情報収集・情報提供方法の検討をあげております。

次に、25ページをお願いいたします。

基本方針3は、「スポーツによる地域の活性化」でございます。

スポーツの力で、地域の活性化とまちづくりをしていくことをあげております。

基本施策1は、「スポーツ事業の充実」でございます。

取組の方向といたしまして、①スポーツイベントの開催、②文化を取り入れたスポーツ事業の開催、③企業との連携でございます。

26ページをお願いいたします。

基本施策2は、「スポーツ交流の推進」でございます。

取組の方向といたしまして、①地域におけるスポーツ交流の推進、②近隣や国内の都市とのスポーツ交流の推進、③外国とのスポーツ交流の推進でございます。

次、27ページをお願いいたします。

基本施策3は、「市民のスポーツへの関心の向上」でございます。

取組の方向といたしまして、①多くの世代が参加できる取組の推進、②仲間づくり・生きがいくりのためのスポーツ活動の推進を再掲しております。③スポーツイベントの開催でございます。

次に、28ページ、29ページが、「第5章 市民が一体となった計画の総合的推進」でございます。

この計画の推進には、市民、団体、行政等の連携があっはじめて実現されるものであり、それぞれの期待される役割をあげております。

29ページがそのネットワークのイメージ図でございます。

文言は、前回の素案と変更ございません。

ネットワーク図のほうは、前回は、「スポーツ推進会議」を記載しておりましたが、これにつきましては、次回の検討会議の議題にいたしたく、このたびの資料には記載はしていません。

7月に東播磨・北播磨地区社会教育主管者会議があり、そこで他市の状況を調べまして、ご報告させていただきますので、よろしくお願いたします。

以上、簡単ではございますが、説明を終わります。

○議長

ありがとうございます。

最後までいったということで、22ページから、まず環境のところですね。人、物、箱物で情報ですね。お金のことは基本的には省くとすれば、一応パターンとしては入って大枠はいるんじゃないかなと思います。

後ちょっと個々の記述について、まず、この環境のところ、点検をいただけたらと思います。22、23、24ページですね。

どうでしょうか。

○委員

基本方針2、スポーツ環境の整備ですけども、施策体系の基本目標になってるんですね。その前の第4章の基本目標1があっ、次の基本方針の3となっているんです。目標と方針の言葉が出てきているんですね。

それと、2のスポーツ環境の基本目標で充実、この22ページのスポーツ環境の整備。

○議長

これ多分、もう単純なミスですね。基本目標2で、22ページのタイトルのところですね。スポーツ環境の充実でいいと思います。

○委員

25ページもそうですね。

○議長

そうですね。基本目標ですね。

○委員

最初の目次のところもあるので。

○議長

目次のチェックで。

いかがでしょうか。

何かありますか。

○委員

23ページの基本施策2の取組の方向というところの①なんですけども、ちょっと細かくなってしまうんですけども、バリアフリーの推進というところで、基本的にそのバリアフリーというものが、障害者、高齢者のために使われるものだけではないので、そこはもうどの方でも利用しやすいという言葉のほうがいいのではないかなと。

私もよく学生であったり、一般の方に聞かれるんですけども、スロープって障害者の方と高齢者の方しか使ったらいけないんですかってよく聞かれますけど、そうではなくて、ベビーカーを押している方でもいいですし、足骨折して階段が上りにくい方でも使えるものだと思いますので、ここはあえて障害者や高齢者というくくりにはせずに、どの方でも利用しやすい施設の整備ということをしたほうがいいと思いますし、その中にまだ細かく言うのあれば、トイレの数であったりとか、そういったところも含めて書いていると、より一層そのスポーツの施設の安心感というものが、どの年齢の方でも通じるのではないかというふうに考えました。

以上です。

○議長

ありがとうございます。

これ、記述自体は、例えば上の文章あたりは置いといても、このあたりはいいんですかね、僕もなかなか、上の文章のところでは、障害者や高齢者に配慮したバリアフリーの推進には書いてるんですが、わかりやすさからしたら、あったほうがいいとは思いつつも、委員の言うこともわからないでもないし。

例えばですけど、ちょっと思いつきなんですけど、多様な人が施設を利用するという観点に立ってみたいな感じで。

○委員

そうですね、そのほうが入っていきやすいかなと。

○議長

そういう整備に努めますみたいな形で。

後、2番目、一番変わった表現なんですけど、既存施設の付加価値の充実というこのタイトルが、ちょっとわかりづらい、どんな意図かなと思って。文章を読むと、何か付加価値、例えばタイトルだけいくと、その運動公園と学校体育館にもうちょっと魅力ある何か利用する人が寄ってくる、ちょっと例えばポイントとか、付加価値をつけるというのは、多分そういうことにはなってくるのだけど、多分そういうことじゃないんですよ。

○事務局

今、具体的な調査はちょっとしてなくて。

○議長

相当プラスアルファしてくれてるので、多分ばっと入れてくださったとこだとは思

んですが。

ちょっとここ、ペンディングで再検討ということでさせていただきます。

後、続いて25ページの地域の活性化の部分以降も含めて、後数分って見ていただきたいんですが。

○委員

25ページの一番下、③企業との連携の説明文が、何かちょっと、文としてよくわからない、つながってない、浜風駅伝大会などというところ、浜風駅伝の説明がちょっと必要なのかな。これ、高砂マラソンだと多分みんなわかるんですけど、浜風駅伝はわからない方のほうが多いと思いますので、市の中心の話ですし、それが必要なのかな。

文章でいうと、などではなく、浜風駅伝のように多分いいなと思います。

企業と連携して、どこの企業かというのがわからない。例えば市と企業とか、市民と企業とか、そういう書き方のほうが必要かなと思います。

○議長

後一つ、これ特徴的な表現というか、一つの売りにもなるんですが、その上の②、文化を取り入れたスポーツ事業の開催というところですね。すごくいいことなんです、取組として。積極的にやらねばならない大きなポイントなんですけど、この多分言ってることはわかると思うんですが、このタイトルですと皆さんが入るんだったらオーケーなんですけど、例えば、スポーツと文化を融合させた事業みたいな形のほうが、もっとアピールが、今までばらばらでやってたけど、説明文にもその辺を入れて、生涯学習として文化的側面、スポーツと文化的側面を融合させて一緒にみたいな文言が文章にも入るん違うかなみたいに、ちょっと思うところなんです。

○委員

26ページの②近隣や国内の都市とあるんですけども、国と国内の都市の僕がイメージするところがわからないので、表現変えたほうがいいかな。

○委員

他府県か。

○議長

地域におけるスポーツ交流ですね。

他市町とかでいいのかもしれないですね。

○委員

近隣の市町村や他府県の都市とか、何かそんな感じかなと。

○議長

それとちょっとすいません、これも私のチェックミスでもあるんですが、27ページ、基本施策の3が、結局、具体的にタイトルとしては市民のスポーツへの関心の向上というのをつくってくださったんですが、これ自体が施策の1とか2は、まあまあわかるんです。でも、関心の向上というのが施策として、取組の方向を見ても再掲のもの、②も

③も①も、これ必要あるってちょっと時間をおいて私見ましたら、今思うんですけど、いかがでしょうかね、これ。あるいは、ちょっと事務局の意図を、そのあたり、遠慮なく言っていただけたらと思うんですが。

これ、むしろこの文章は悪くないので、この地域づくりの将来像の下ぐらいに、その全体の話として入れたらどうですかね、書いてくださったやつ。

まさに、多分意図としてはスポーツをやっている人だけが動いたってダメなので、やってなかった人とか、いうのをつなぎたいよって、そのためにちょっと違うタイプの事業をしましょうとか、あるいはよそのところから刺激をもらいましょうっていうふうに。

○事務局

きっかけになるというところがあったので、それを全体にかかわるかもしれないんですけども、そういうのを出したかったの。

○議長

施策というところで、どうかなという。

○事務局

あえて③の・・・見るスポーツという感じですかね。

○議長

ここについてはどうですかね、もしご議論がなかったら、ちょっとすいません、再検討をさせてください。

後、28、29のところです。

○委員

図についてなんですけれども、図の中に語句というか団体の説明1から8あるんですけど、その中に民間のスポーツクラブと医師会は文章の説明がないので、ここに入れるなら何か説明があったほうがいいのかと思います。というのが一つと、もう一つ、前回この図で私、市民が参加だけじゃなくて、運営というかそれに主体的に変わるというのを加えるべきじゃないかという意見をしたと思うんですけども、それはあえて最初は参加からということで参加だけにされたということでしょうか。

○委員

周りだけじゃないのかな。

○委員

ぱっと見、参加というと・・・イベントに参加とかをしていくだけというふうに見えてしまうので。

○議長

そういう意味では、参加・参画ぐらいにしたほうがいいのかもしいですね。みんなここで、周りの人も市民なんですけど、一般的には参加される人も、その組織にも入って参画も含めて。

そもそも、参画というのは参加と計画に、企画にかかわる両方があるので、参加・参

画と言うとちょっと重複する分もあるんですけど、わかりやすさから何かそうあったほうがいいかなとも、今のご意見も踏まえると。

それと、難しいところです。民間のスポーツクラブ、医師会、確かにかかわる要素としては文章をどうするかというのは、本当に、確かに。

○委員

そうすると、何かそこに。

○議長

わかります、絶対そうですよね。少なくとも何か書いてある以上は、何かどういう位置づけかとなりますよね。

○委員

例えば、医師会でしたら医学的なサポートの視点でやってもらうとか、そういうことになるんだと思いますし、民間スポーツクラブは、市のスポーツ事業だけでは賄えないようなこういういろんなスポーツをやっている団体の力を借りるとか、そういうことだと思うので、ちょっと一文でも書いていただいたらなと思います。

○議長

確かに、正直なところ医科学のサポートをって、前に書いてあるということは、そういうふうな少なくとも、医師会かどうかわかりませんが、そういうふうなサポートは絶対に必要なので、細かく入れるか、もう上では、文章では民間企業、団体になってるから、そこへ込み込みで、もう図もわけないで入れておくのも一つの手で、そこも。

そのほかいかがでしょうかね。

ここももう一回再考させてください。

○委員

(1) から (6) までの最後の文言は、期待されますんですね。(7) が期待されています。違いはなんですか。

○議長

多分、特段すごい意識的にしたわけじゃないんですね、これね。

(7) のところ、期待されますだけに直して意味は通じますかね。

これ、多分(7)だけは、ちょっと市がコントロールできないところです。後は、(1)は別として、スポーツ推進委員から、体育協会から、スポーツクラブ21からスポーツ少年団は、全て市が何らかの形で把握をしているところ。多分、民間企業、団体はそうじゃないので、多分こんな書き方、世の中一般でこんなことをされているんですよみたいな書き方にも見える気もしますね。

○委員

おしつけでなしに。

○議長

ほかのところは、もうこういうふうなことを期待されているのでしていただきたい

な意味だと思えますね、この表現。だけど、民間企業には期待されますって、何か偉そうにはちょっと言えないという、何かそこかなと、深読みかもしれないですけど、ちょっとここも先ほどの表記の問題ともちょっと検討をさせていただきます。

長々と遅くなってしまいました、すいません。

それでは、最後まで一応ざっと通しましたが、さまざま出ましたので、一度また事務局と私のほうでもう一回再確認をして、そしてしかるべきタイミングで今後のスケジュールに祖語が出ないような形でお送りして確認をとるという作業を進めたいと思いますので、お願いいたします。

それでは、時間のほうも参っておるんですが、二つ目のこの策定に伴う意見募集等についてということのもう一つの議題のほうにいきたいと思います。

事務局のほうから説明をよろしくお願いします。

○事務局

資料3をお願いいたします。

「高砂市スポーツ推進計画策定に伴う意見募集等について(案)」でございます。

これは、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程第5条で、この規程に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、議長が検討会議に諮り定めることになっておりますので、市民提案・意見募集に関する取扱を定めるものでございます。

いわゆるパブリックコメントの実施につきまして、対象者、時期、方法、募集期間及び意見の取扱等について定めるものでございます。

資料4をお願いいたします。

パブリックコメントの案内チラシ(案)でございます。

資料2の「高砂市スポーツ推進計画(素案)」について、市民等から意見を求め、文化スポーツ課へ書面で提出していただきます。

資料5は意見提出の様式でございます。

提出された意見については、このスポーツ推進計画検討会議にご報告いたしまして、同じ趣旨のご意見をまとめて公表する予定でございます。

以上です。

○議長

これについて、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

これは、高砂市のほうで規定がありまして、パブリックコメントに関する一定の進め方ということで、ご理解いただけたらと思います。

○委員

今回の質問を含めた形で素案になりますか。

○議長

そうです。修正をもう一回、ちょっと保留とか確認しないといけないところがありま

すので、それをした上で、1回委員の先生方には見ていただいて、最終的には一任を、プロセスはつくりたいと思うんですが。

○委員

職場でも誰かに見てもらおうかなと思ってのんですけど、これは改訂版を送っていただいて、それを見るということですか。

○議長

そうです。

これ、改訂版がホームページに全文がでるんですよ。出ましたら対応いただけたらと思います。

○委員

3番の実施機関で市長とは。

○事務局

これは、ちょっと私もわからないんですが、市長が実施しますということですか。

○議長

これはあれですよ。ほかの要綱などに則って、この資料③がスポーツ推進計画策定案として出ているというふうに理解したらいいんですよ。

実際、市民の皆さんが目にするのは資料4だということですよ。

そういう意味で、庁内の文書だというふうにご理解いただけたらと思います。

それでは、最後、その他事項にいきたいと思います。

事務局のほうから説明をよろしくお願いします。

○事務局

先ほどの「高砂市スポーツ推進計画策定に伴う意見募集等について」に基づき、パブリックコメントを6月11日から7月11日まで1か月間実施し、次回の検討会議でご報告いたします。

以上でございます。

○議長

ちなみに、これ当然ですけど、最終決裁をとってから掲載になるので、5月中にはどんなに遅くとも、これの修正版の確定をしないといけないということですよ。

そうしましたら、何とかここから連休等もあるんですが、事務局にもお願いしながら、私少し頑張りますので、2週間程度でつくって、それで皆さんのほうにすぐ送らせていただいて、1週間程度で返事をいただいてというふうな形になるかと、5月末にはもう確定というふうな形でいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、今後のスケジュールはそういうことで、7月11日までがパブリックコメントとして、それ踏まえて次回の開催日なんですが、日程調整をいたします。

(日程調整)

○議長

では、8月5日火曜日の19時ということでお願いしたいと思います。

予定の内容は全てこれで終わりなのですが、よろしいですかね。長時間にわたって、本当にありがとうございます。

それでは、事務局のほうにお返ししますので、よろしくをお願いします。

○事務局

ありがとうございます。

それでは、最後に、健康文化部長から閉会の挨拶をお願いします。

○事務局

(あいさつ)

○事務局

それでは、これにて散会いたします。

どうもありがとうございました。

(午後 8時57分 閉会)